

第4次総合計画進捗評価 総評

湯梨浜町長 宮脇 正道 様

令和5年10月23日に湯梨浜町総合計画評価委員会を開催、第4次総合計画における令和4年度の進捗状況について審議致しました。その結果をまとめ、下記のとおり総評及び要望等として報告致します。

記

1. 総評

- (1) 総じて、自己評価は適正にされているが、過小評価の場合もある。控え目がいいのではなく、評価はあくまでも客観的に適正に行うべきである。
- (2) 「組織の設置」を指標に掲げているものは、その組織がどのように機能するかが重要であり、「組織のあり方」を、今後、十分に検討する必要がある。
- (3) 1年の振返りを踏まえ、「事業進捗評価」は、取り組みの効果に対する分析を行い、「今後の取り組み」では、改善した取り組みを実施するという視点をもっていただきたい。

以下(4)以降は、評価方法そのものが検討課題といえる。

- (4) 年度毎に状況や条件が変わるものは、単年度計画に基づく評価の在り方を検討する必要がある。
- (5) 経年的な変化を踏まえなければ評価が困難であるもの、また KGI9「美しい自然環境の保全」東郷池の水質改善（COD）や SDGs ローカル指標等は町民が何を尽力すれば COD や SDGs の達成に貢献できるのか明らかでないもの、さらに事業の進捗と共に新たに生じる問題解決への取り組みに対する評価等の方法も、今後、検討する必要がある。
- (6) 将来的に、全体を通して評価指標は現行のままとするのか、見直しを必要とするかの検討が必要である。

こうした評価方法、評価指標に対する課題を、令和5年度の実績評価において、各担当部署においても十分に検討していただきたい。

2. 要望等

とはいえ基本は、KGI（重要目標成果指標）の達成に向けて、PDCAサイクルの有効的な活用を図り、本計画の目指す未来都市像「住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち」を見据えながら、引き続き計画を着実に推進されるよう要望します。

以下、個別の要望、意見等を記します。

- (1) 「東郷池の水質改善」に関連しては、禁漁明けからシジミが死ぬ問題が生じている。原因や調査方法などの協議や速やかな対応を望む。
- (2) K G I 1 6 農業後継者の育成に関連しては、農業を辞める人と始める人との間に、農地を繋ぐ取組みも重要であり、推進していただきたい。
- (3) K G I 2 6 障がい者の就労促進については、引き続き個別の相談等により結果に結びつけていただきたい。
- (4) K G I 3 6 不登校に対する対応強化については、こども支援センターやフリースクールの情報提供や紹介を行うなどの取組みが周知されるよう推進していただきたい。
- (5) 災害の、降雪や水害による通行止めの情報は、ホームページなどによって速やかに提供できる方策を検討していただきたい。住民や観光客等にとって重要である。
- (6) 突発的な病気でも不在者投票ができるよう、各公民館単位等に出張する取組みを検討していただきたい。
- (7) 郷土芸能継承のためには、学校での学習が一過性とならないよう、地域関係者にも周知、連携していただきたい。

令和5年10月31日

湯梨浜町総合計画評価委員会
会 長 山田 修平